

- 問1 北海道の東部、釧路から中標津にかけて広がる、数十キロにわたって牧草地や牧場が続く大規模な農業地域を何といいますか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
1. 根釧平地                      2. 上川盆地                      3. 十勝平野                      4. 石狩平野
- 問2 北海道において、スマート農業が他地域に先駆けて積極的に推進されている理由を、土地利用の状況と社会的な背景から考察した説明として最も適切なものはどれですか。 (2021年 宮城県公立入試 類似)
1. 高齢者の割合が全国で最も低く、新しい技術を操作できる若者が過剰に存在するため                      2. 山間部が多く機械の導入が困難なため、ICTによる遠隔操作が唯一の手段であるため                      3. 小規模な農地が密集しているため、ドローンを使わなければ肥料が隣地に飛散するため                      4. 広大な経営面積に対して従事者が不足しており、省力化の必要性が極めて高いため
- 問3 北海道北部の利尻島・礼文島において、地域の産業を持続させるために行われている取り組みの背景と内容として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
1. 観光客の減少を食い止めるため、閉山した金山の坑道を再活用したテーマパークの建設が進んでいる。                      2. 土壌の性質を改善することで、生産額が減少したサトウキビに代わる新たな特産品の開発が進んでいる。                      3. 昆布の需要減少に対応するため、漁場をすべてレタスなどの大規模な野菜工場に転換する計画が進んでいる。                      4. 高齢化による労働力不足を補うため、昆布養殖や漁業の技術を伝える後継者の育成・支援が行われている。
- 問4 北海道のほぼ中央に位置する内陸部の気候について述べた文として、最も適切なものはどれですか。この地域では、海岸部と比較して夏と冬の気温差が大きく、冬の気温が氷点下になるという特徴が見られます。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
1. 海洋性気候                      2. 内陸性気候                      3. 瀬戸内の気候                      4. 南西諸島の気候
- 問5 北海道最大の稲作地帯である石狩平野について、農業開発の歴史的な背景や工夫を説明した文として最も適切なものを、次のうちから選びなさい。 (2024年 福島県公立入試 類似)
1. 水分を多く含む農業に不向きな泥炭地を改良するため、他から土を運び入れる客土が行われた。                      2. 冷害を避けるため、石狩川の水を大規模な温水ため池で温めてから田に引く工夫がなされた。                      3. 火山灰地で水はけが良すぎるため、粘土質の土を混ぜて保水力を高める工事を全域で行った。                      4. 浅い海や湖を堤防で囲んで排水し、広大な干拓地を造成することで米の生産量を増やした。
- 問6 北海道二セコ町の月別外国人宿泊者数は12月から3月にかけて突出して多く、産業別の就業者数割合では飲食業・宿泊業が17.8%で最も高い数値を示しています。これらのデータから読み取れる地域の特徴として、最も適当な記述を選びなさい。 (2026年 岩手県公立入試 類似)
1. 全国の平均と比較して製造業の就業者割合が極めて高く、外国人観光客は年間を通じて均等に宿泊している。                      2. ウィンタースポーツを目的とした外国人観光客の増加に伴い、飲食・宿泊関連の産業が町の中心的な雇用を生み出している。                      3. 外国人観光客の宿泊が夏場に集中しているため、冬場は観光関連産業の就業者が減少し農業へ移行している。                      4. 夏季の観光需要の高まりに合わせて外国人観光客が集まるため、年間を通じて農業の就業者数が最も多い。
- 問7 北海道の道央部に位置し、広大な石狩平野の中に広がる北海道の道庁所在地について、その都市名と特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2025年 茨城県公立入試 類似)
1. 釧路市は、道東地方の石狩平野に位置する道庁所在地で、霧が発生しやすい気候を利用した乳牛の飼育が盛んである。                      2. 函館市は、道南地方の政治の中心地であり、青函トンネルを通じて本州との結びつきが強い道庁所在地である。                      3. 旭川市は、石狩平野の南端に位置する道庁所在地で、周辺では大規模な稲作が行われている。                      4. 札幌市は、道庁所在地として政治・経済の中心地となっており、冬には石狩平野の積雪を利用した「雪まつり」が開催される。
- 問8 積雪の多い地域の道路で見られる、道路の上方に矢印を掲げた「固定式視線誘導柱」という標識について、その仕組みや必要とされる背景を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)
1. 道路の端（路肩）の位置を高い場所から指し示すことで、地面が雪に覆われた状態でも車道の範囲を知らせる仕組み。                      2. 地吹雪による視界不良を防ぐため、道路脇に設置された防雪柵が作動する範囲を運転者に伝える仕組み。                      3. 路面が凍結しやすい場所に設置され、気温が一定以下になると矢印が自動的に発光してスリップ注意を促す仕組み。                      4. 雪の重みによる路面の変形を確認するため、道路の測量地点を高い位置から特定しやすくする仕組み。
- 問9 北海道地方の気候の特色について、6月から7月にかけての状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2021年 神奈川県公立入試 類似)
1. 北東から吹く冷たい風（ヤマセ）の影響で、この時期だけ急激に降水量が増加する。                      2. 南東から吹き込む湿った季節風の影響により、本州よりも早く本格的な雨期が訪れる。                      3. 停滞前線が長期間にわたって停滞するため、年間で最も降水量が多い時期となる。                      4. 梅雨の影響をほとんど受けないため、本州以南で見られるような長期間の雨期がはっきりしない。
- 問10 北海道の太平洋側において、夏に濃霧が発生し、気温が相対的に低くなる主な要因として最も適切なものはどれですか。 (2026年 岩手県公立入試 類似)
1. 南西からの寒流の上空を乾燥した冬の偏西風が吹き抜けるため                      2. 北東からの暖流の上空を湿った夏の偏西風が吹き抜けるため                      3. 北東からの寒流の上空を湿った夏の季節風が吹き抜けるため                      4. 南西からの暖流の上空を乾燥した冬の季節風が吹き抜けるため
- 問11 北海道の農業は、農業従事者一人あたりの耕地面積が非常に広いことが特徴です。このような土地条件のもとで行われている農業のあり方について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 福岡県公立入試 類似)
1. 土地の生産性を高めるために、多くの労働力を投入する労働集約的な稲作が広く行われている。                      2. 広大な農地を効率的に管理するため、大型機械を活用した大規模な機械化農業が展開されている。                      3. 寒冷な気候による被害を防ぐため、耕地面積を小さく抑え、小規模で多品目な栽培を行っている。                      4. 限られた土地から高い収益を得るため、ビニールハウスなどを活用した施設園芸農業が中心となっている。
- 問12 日本全体の耕地面積のうち約4分の1を占める北海道の農業について、その生産規模を正しく説明したものはどれですか。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)
1. 全国シェア約13.5パーセントの農業産出額をあげており、面積のシェアに比べると産出額の割合は低い                      2. 広大な土地を活かした付加価値の高い農業により、農業産出額の全国シェアは面積シェアを大きく上回る                      3. 耕地面積は全国の4分の1だが、米の生産に特化しているため農業産出額のシェアは5パーセント未満である                      4. 農業産出額の全国シェアも耕地面積と同様に約25パーセントに達しており、面積相応の収益をあげている